

今号の主な記事

- ◇窓口封筒などへの広告主を募集…2面
- ◇市の職員(栄養士、保健師)を募集…2面
- ◇「にしのみや安心eネット」を開設…2面
- ◇「西宮和菓子まつり」開催…3面
- ◇NHKの番組にちなんだイベントを開催…4面



図書館で行われている「おはなし会」の様子  
「いつも楽しい!!」と好評です

皆さんのニーズにこたえる市政運営をめざして  
**「市民満足度調査」を実施しました**

私たちが暮らす今日の社会では、人々の価値観や生活スタイルなどが大きく様変わりし、行政に対する市民の皆さんのニーズも非常に多様化しています。市は、市民ニーズを的確にとらえ、市民満足度の高い市政運営を行うために「市民満足度調査」を実施しました。ここでは調査結果の概要をお知らせします。問合せは政策推進グループ(0798・35・3476)へ。結果の詳細については、後日、市のホームページ(アドレスはページ下参照)に掲載します。

限られた財源のなかでの  
質の高い行政サービス

	発送数	有効回収数	有効回収率
A 票	2,500	1,383	55.3%
B 票	2,500	1,337	53.5%
合計	5,000	2,720	54.4%

施策の満足度について

満足度高い	情報提供と広聴の充実 図書館活動の推進 芸術・文化活動の振興 消防・救急救助体制の充実 自然環境の保全と活用 廃棄物処理と資源リサイクルの推進 都市型観光の振興 窓口サービスの充実 健康づくり 臨海地域の親水性のある海岸線の整備
-------	---

満足度低い	高等学校教育の充実 北部地域の交通条件及び生活関連施設の整備 地域福祉の推進 防犯・交通安全対策の推進 小・中学校教育の充実 医療保険と医療費助成 生活自立の援助 児童・ひとり親家庭福祉の充実 行政経営改革、行財政改善、財政運営 駐車対策の推進
-------	---

施策の重要度について

重要度高い	災害に強いまちづくり 防犯・交通安全対策の推進 医療保険と医療費助成 高齢者福祉の充実 地域保健医療体制の充実 水の安定供給 消防・救急救助体制の充実 地域福祉の推進 小・中学校教育の充実 下水道・河川の整備
-------	---

重要度低い	勤労者福祉の向上 工業の振興 広域行政の推進 社会教育の総合的推進 文化的環境の向上 スポーツ・レクリエーションの振興 男女共同参画社会の実現 文化財等の活用 都市型観光の振興 大学との連携
-------	--

重要度については、市全域にかかる施策のみ表示しています

自治体は、自らの責任と判断で地域にあった行政運営を行う必要性が高まっており、市民の皆さんに満足していただいているかを常に考えながら、独自の行政サービスを提供することが求められています。一方、行政サービスを行うための財源は限られています。本市は、財源や施設、人員など限られた経営資源を最大限に活用した行政運営をめざしています。

調査は、市内全域で無作為に抽出した5000人の

調査の概要と  
集計結果

結果をみると、満足度の高い施策については、「情報提供と広聴の充実や図書館活動の推進」、「芸術・文化活動の振興」などがあがっています。一方で、駐車対策の推進、「行政経営改革、行財政改善、財政運営」、「児童・ひとり親家庭福祉の充実」といった施策の満足度が低いことがわかりました。

結果をみると、満足度の高い施策については、「情報提供と広聴の充実や図書館活動の推進」、「芸術・文化活動の振興」などがあがっています。一方で、駐車対策の推進、「行政経営改革、行財政改善、財政運営」、「児童・ひとり親家庭福祉の充実」といった施策の満足度が低いことがわかりました。

結果をみると、満足度の高い施策については、「情報提供と広聴の充実や図書館活動の推進」、「芸術・文化活動の振興」などがあがっています。一方で、駐車対策の推進、「行政経営改革、行財政改善、財政運営」、「児童・ひとり親家庭福祉の充実」といった施策の満足度が低いことがわかりました。

防犯への意識を高めてもらおうと、「ひたたり防止キャンペーン」などの啓発活動を行っています

調査結果について

重要度については、災害に強いまちづくりや防犯・交通安全対策の推進、医療保険と医療費助成などがあがっています。一方で、駐車対策の推進、「行政経営改革、行財政改善、財政運営」、「児童・ひとり親家庭福祉の充実」といった施策の満足度が低いことがわかりました。

今回の調査では、今まで進めてきた市の福祉・教育・環境・産業などの様々な取り組みについて、どの程度「満足」しているか、またどの施策を「重要」と考えているかなどを市民の皆さんの視点で評価してもらいました。同時に、市民の皆さんの考えや日常についても尋ねました。今後は調査結果を、これからの市政運営の基礎資料として、さらに分析を行い、市民の皆さんに満足していただける市政の実現に努めます。



市長からのメッセージ



西宮市長 山田 知

いま、少子高齢化や地方分権の進展など、私たちが取り巻く社会は大きく変化し、市民のニーズも非常に多様化しています。したがって今後は、低成長時代のなかで、ヒト・モノ・カネなどの限られた資源を活用して、どのようなサービスを提供していくかという判断をすばやく、的確にしていくことがますます重要になっていきます。私は、まちの主役である市民の声を積極的に聞き取り、ともにまちづくりを進めることを基本姿勢にしました。今回実施した「市民満足度調査」は、これまでの市の取り組みの成果や、これからのまちづくりの方向性を考える際の大切な資料とするために、市民の皆さんの視点から、市のサービスが低くなっています。重要度については、災害に強いまちづくりや防犯・交通安全対策の推進、医療保険と医療費助成などがあがっています。一方で、駐車対策の推進、「行政経営改革、行財政改善、財政運営」、「児童・ひとり親家庭福祉の充実」といった施策の満足度が低いことがわかりました。